

DS デンタルスタジオ株式会社 様

所在地 〒261-8501 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-3 幕張テクノガーデン
 設立 2016年7月
 従業員数 89名
 導入 2015年10月 DORA、2016年12月 WAXY

CAD/CAM 化の不安を払拭し、技工時間までも短縮した DORA/WAXY

千葉市の幕張新都心のオフィスビルの中に位置する歯科技工所である弊社は、自費技工から保険技工まで幅広く行っています。

弊社は、以前より歯科技工の機械化を進めてきました。その後もジルコニアの普及、CAD/CAM 冠の保険適用により歯科用 CAD/CAM の使用範囲が拡大することにより新しい機械を購入して参りました。また、一方で歯科技工の作業効率を上げること、将来の歯科技工士不足を見越してという見地からも手技から歯科用 CAD/CAM への移行が急務と感じております。

歯科用 CAD/CAM 導入時の不安事項

最初は下記の懐疑的な見方を歯科用 CAD/CAM に持っていました。

- ① 手技の精度の方が良いのでは？
- ② 作業の効率が良くなるというのはメーカーの宣伝ではないか？
- ③ パソコンを触ったこともない人間には、慣れるのに時間がかかるのでは？

しかし、“案ずるより産むが易し”で、すぐにその考えは払拭されました。それを可能にしたのはデジタルプロセス製の DORA/WAXY の存在があったからです。

WAXY 導入のメリット



今では、保険のワックスアップのほとんどの作業が歯科用 CAD/CAM に移行しています。WAXY を活用しワックスアップ

を CAD/CAM 化できたのは、操作の容易さ、ミリングの速さ、加工精度の高さの3点があってこそだと思います。最近では、テックやプロビショナルの製作も歯科用

CAD/CAM で行うようになり歯科医師の先生方には大変に良い評価をいただいております。データが残せるので、プロビショナルの情報を最終補綴物に活かせる、大変助かっております。

DORA 導入のメリット

DORA を導入した狙いのひとつに「新人の教育」ということがあります。新人教育にはとても時間がかかることですが、それに見合った成果というものなかなか形として見えてきません。そこで、入社して半年の新人に DORA のオペレーターとしての仕事を任せることにしました。入社して半年間クラウン、ブリッジを中心に仕事を行ってきたので、ある程度の下地はできていましたが、1年でフルマウスの症例を普通にこなせるようになりました。適合精度や歯牙の形態など技術の習得には時間のかかる作業を CAD/CAM が補完することで成し得たことと痛感しております。また、ベテラン歯科技工士には今まで培ってきた審美や咬合に時間を費やしてもらうことができるようになりました。



まとめ

歯科用 CAD/CAM の導入により生産性が上がり、昨今問題となっている残業時間の短縮にも繋がってきています。歯科用 CAD/CAM と手技をうまく使い分けることにより、顧客と従業員両者の満足度を上げることが期待できるアイテムだと思います。

技工部架工課 主任 櫻井 英規 様 ご執筆